

## 令和4年度 学力向上に係る効果的な取組事例

### 「教科等の目標を達成するための一人一台端末の活用」

#### 蓮田市教育委員会・蓮田市立蓮田中央小学校

##### 蓮田市の各小中学校の取組

蓮田市では、児童生徒の主体的・対話的で深い学びを実現するため、アクティブ・ラーニングの実践を進めている。アクティブ・ラーニングの学習過程にICTを効果的に取り入れることで、児童生徒にとって興味関心を高める授業を実現することを目標とし、授業の質の向上及び確かな学力の定着を目指す。

##### 実践1

○教科名 社会科

○单元名 「自然災害から人々を守る」 第4学年（副読本 はすだP136～P149）

○身に付けたい力 ・地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること。

・聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、まとめること。

・過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その動きを考え、表現すること。



○効果的なICT 端末の活用

① 蓮田市の地形図を活用し、土地の様子から被害地域を考えさせる。

➤ 白地図（写真で取り込む）に、被害地域をタブレット上で色分けさせる。（色塗りの時間短縮）

➤ グループで共有する際は、スクイメニュークラウドの「発表ノート」グループワーク機能を活用して、違いを比較させる。

➤ グループで考えた白地図と実際の被害地域を重ね合わせることで、洪水は川の近く、低地に広がっていることをおさえる。（表示の仕方、視覚的理解が得られる。）



##### 実践2

○教科名 国語科

○单元名 「馬のおもちゃの作り方 おもちゃの作り方をせつめいしよう」 第2学年

○身に付けたい力 ・共通、相違、事柄の順序など情報と関係について理解すること。

・自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って構成を考えること。

・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。



## ○効果的な ICT 端末の活用

- ① 順序を表す言葉を抜いた文章を提示し、タブレットを使って文章の並び替えをする。
  - 本文を段落ごとに区切り、順序を表す言葉を抜いた文章を色分けしてバラバラに提示し、タブレットで並び替えの操作をする。(試行錯誤が可能)
  - 順序を表す言葉を入れた文章を配布して、説明文には、順序を表す言葉が大切であることを実感させる。(容易な資料配布による時間短縮)
  - グループ活動において、自分の考えがまとまらない児童は、友達の考えを参考に、考えをまとめることができる。(個別最適な学び)



### 実践3

○教科名 算数科

○单元名 「どちらがひろい」 第1学年

- 身に付けたい力
- ・長さ、広さ、かさなどの量を、具体的な操作によって直接比べたり、他のものを用いて比べたりすること。
  - ・身の回りにあるものの大きさを単位として、そのいくつかで大きさを比べること。
  - ・身の回りのものの特徴に着目し、量の大きさの比べ方を見出すこと。



## ○効果的な ICT 端末の活用

- ① 学習課題の設定
  - 実物の写真を提示することにより、児童が興味関心を高めやすいようにする。(画像により、身近な課題としてとらえることができる。)
- ② 適用問題の際の学習ゲーム
  - タブレットを操作し、陣取りゲームを行うことを通して、広さを比べ、実感することができる。



### 実践4

○教科名 体育科

○单元名 「マット運動」 第6学年

- 身に付けたい力
- ・回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすること。



## ○効果的な ICT 端末の活用

- 学習課題の設定 ICT 端末を用いて、自身の動きを客観的に見つめ直し、課題を明確化できるようにする。(追いかけて再生による、即時的な児童へのフィードバック)
- ② 課題解決場面
    - お手本動画を参考に、技の行い方の正しい理解をする。(個別最適な学び)

